

4月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/04/01 (金)	東京は円安傾向。事前からウリサされていたことが短観の悪化が円売り材料となっていた。 欧米は円安と言うよりユーロ安。米雇用統計はよそより弱い数字になったものの調整と思いきり買い優勢。	・日銀短観大企業製造業DIは14 ・3月の米失業率5.2%、同非農業者雇用数11.0万人、同ISM非製造業景況指数63.1、同ISM製造業景況指数65.5、同シカゴ大消費者信頼感指数92.6	・谷垣財務相「景気判断、大きな意味では今までと変わらない」 ・シカゴ連銀総裁「インフレ懸念は以前より増している」 ・ホワイトハウスがバーナンキFRB理事をCEA委員長に指名	107.28 106.75 107.79 107.56	139.09 138.54 139.50 138.85	寄付 安値 高値 終値
05/04/04 (月)	東京は終盤に掛けてドル買い進む。OPのかわりが過ぎた需給要因が大きかったとの声あり。 欧米でドルは続伸。この日は原油高がドル買いの材料になっており、対円では108円突破の起爆剤に。	・財務省が外貨準備高の運用方針を公表、そのなかで外準の多様化を公式に否定 ・ローマ法王ヨハネパウロ2世が死去(現地2日、葬儀は週末8日)	・米財務省筋「ワシントンG7で為替は主要な議題にならず」 ・スノ財務長官「エネルギー価格の高騰は米経済を圧迫する」	107.73 107.59 108.43 108.30	138.82 138.75 139.38 139.13	寄付 安値 高値 終値
05/04/05 (火)	東京はまたもやドル高。ドル/円は一時108.90円と109円に迫る局面も。ただ材料的にはとくになし。 欧米でドルは一転急落。期待されたFRB議長の発言が失望に終わり、ロスカットの的なドル売りも見られた。	・翌週のG7を中国が欠席する意向明らかに ・ムンテーズが米GMの格付けをジャンク寸前まで引き下げ	・FRB議長「石油やガスの長期的価格見通しは不透明」 ・ロープ米大統領補佐官「ブッシュ大統領はFRB議長の後継者の選定を急がず」	108.25 108.08 108.90 108.17	139.08 139.00 139.48 139.19	寄付 安値 高値 終値
05/04/06 (水)	東京のドル/円相場は108円台前半で一進一退。ただ予想外の金利据え置きとなった豪ドルが急落。 欧米は再び円売り強まる。クロス中心の円売り意欲強く、またドル/円もOP絡みの動きから円売り活発。	・豪中銀が予想外の金利据え置き ・日銀が金融政策の据え置き決定、ただ「全会一致」ではなく8対1の賛成多数	・小泉首相「手続きを踏んで職の安全確保できれば早期に米牛貿易再開を」	108.33 107.86 108.79 108.68	139.20 138.91 139.96 139.87	寄付 安値 高値 終値
05/04/07 (木)	東京はドル小幅安。好数字となった豪経済指標が好感され、ドルは対豪ドル中心に湧かない。 欧米は週末のローマ法王葬儀でのテロ思惑などがドル売り材料ながら底堅く、むしろ終盤は反発強める。	・3月の豪新規雇用数57.8千人 ・3月末の外準は 28.46億ドルの8377.18億ドル ・BOEとECBが金利据え置き ・2月の米卸売在庫0.6%	・WSJ紙「米上院議員が人民元の早期切り上げなければ中国製品に高率関税を掛けるとの法案提出」 ・トリエ ECB総裁「インフレ圧力の高まりを示す明確な兆候はない」	108.80 108.09 108.80 108.62	140.05 139.56 140.16 139.65	寄付 安値 高値 終値
05/04/08 (金)	東京はユーロを中心とした展開。好調な機械受注や西村発言などにも反応は乏しかった。 欧米は一転ユーロ高。厳戒態勢で何もないとは思いつつもテロ懸念などからドルは積極的に買い難い。	・2月の機械受注4.9% ・西村東大教授が日銀審議委員に正式就任 ・ローマ法王葬儀のため設けられた飛行禁止空域に不審機	・白川日銀理事「日銀は当面低金利政策を続けることが適当と判断」 ・西村日銀審議委員「量的緩和はモルネだが急にやめると痛みを生じる」	108.63 108.20 108.88 108.23	139.40 139.08 140.10 139.96	寄付 安値 高値 終値
05/04/11 (月)	東京は大引け近くになり大荒れ。とくに目立った材料はなかったものの、米系の仕掛けからドル急落。 欧米は低位揉み合い。翌日以降の材料を注視している向きが多く売買は限定的。	・早期に関東で地震、千葉茨城で震度5強 ・2月経常黒字1兆6613億円	・韓国中銀総裁「日中韓の中銀総裁が5月27日にソウルで外準問題を協議」 ・FF連銀総裁「緩やかな利上げ継続は可能」	108.30 107.64 108.52 107.85	139.97 139.64 140.27 139.91	寄付 安値 高値 終値
05/04/12 (火)	東京は引き続き小動き。ただ何故かスイスフランを買い戻す動きが目立ち、ユーロや円もやや連れ高に。 欧米でドル/円は行って来い。米悪材料を嫌気してドルは軟調に推移したが、ユーロ売りがそれを上回った。	・2月の米貿易赤字 610億ドルと過去最高、対日赤字は 62.1億ドルから 68.7億ドルへと拡大 ・カナダ中銀が政策金利を据え置き ・FOMC議事録「追加利上げは必要だがペースの加速、今は必要ない」	・谷垣財務相「G7で原油高はマクロ経済全般のなか議論されるだろう」 ・NY連銀総裁「米財政赤字は維持不可能なゾーンにある」	107.62 107.51 108.49 107.75	139.68 139.13 140.00 139.23	寄付 安値 高値 終値
05/04/13 (水)	東京でドルはさらに軟調。また国内投信などによるクロス円買いも目立ち、円はさながら全面高の様相。 欧米のレンジ内で激しい上下動。著名投資家買戻しのウリサからドル買いも見られたが続かず。	・米著名投資家が長期ドルショートを買戻している、とのウリサあり ・4月月例経済報告で景気判断は4ヶ月連続据え置き ・3月の米小売売上高0.3%	・財務省幹部「日米財務相会談は現地時間15日午後開催」 ・谷垣財務相「米財務長官とはマクロ経済などで意見交換する予定」 ・福井日銀総裁「G7で人民元を議題に取り上げることはない」	107.80 107.14 107.81 107.35	139.12 138.30 139.15 138.64	寄付 安値 高値 終値
05/04/14 (木)	東京は小幅ながらドル全面高。対円では日経平均が大きく崩れたことがドル買い、円売りの材料になった。 欧米タイムにドルは続伸。こここのところ悪材料に反応しにくい地合いからドル買い安心感強い。	・4月ECB月報「物価上昇圧力が高まっている兆候はない」	・細川財務次官「G7ではマクロ経済や原油高リスクなどを議論」 ・テラー財務次官「中国はすぐに柔軟な為替制度を採用できる」 ・ブッシュ大統領「中国は人民元を変動相場制にする必要がある」	107.33 107.25 108.42 108.20	138.54 138.38 138.93 138.63	寄付 安値 高値 終値
05/04/15 (金)	東京はドル高値圏で小じっかり。ヘッジファンドによるバトリのドル買いとのウリサも根強い。 欧米でドルは小安い。注目された2月対米証券投資はかなりの好数字になったが米株下落が嫌気された。	・2月鉱工業生産確報値 2.3% ・4月のNY連銀製造業景況指数3.1、同シカゴ大消費者信頼感指数88.7、3月鉱工業生産0.3%、同設備稼働率79.4%、2月対米証券投資845億ドルの買い越し	・細田官房長官「人民元がG7で取り上げられるかも判らない」 ・米財務長官「中国は柔軟な為替制度にただちに移行すべき」	108.15 107.47 108.56 107.80	138.55 138.46 139.33 139.31	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで